

第36期小金井市公民館運営審議会第2回審議会 会議録（要点記録）

会 議 名	第36期小金井市公民館運営審議会第2回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和3年11月10日（水）午前10時00分から午前11時30分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	渡邊委員長 新井副委員長 浅野委員 川原委員 嵯峨山委員 橋本委員 坂内委員 本川委員 吉田委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	鈴木公民館長 中川庶務係長 大久保事業係長 落合事業係主査 山崎緑分館長		
貫井北・東分館事業 運営受託者	NPO法人市民の図書館・公民館こがねい 村山分館長 鈴木分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項  ア 都公連委員部会運営委員会について  イ 公民館事業の報告について</p> <p>2 協議事項  ア 公民館および公民館運営審議会について</p> <p>3 審議事項  ア 公民館事業の計画について</p> <p>4 その他</p> <p>配付資料  送付資料  (1) 都公連委員部会運営委員会について  (2) 「公民館に関する調査」結果一覧  (3) 公民館事業の報告  (4) 公民館事業の計画  (5) 小金井市公民館手帳</p> <p>当日配付資料  (1) 第1回公民館運営審議会会議録（要点記録）</p>		

## 1 報告事項

### ア 都公連委員部会運営委員会について

#### 【嵯峨山委員】

##### ①「公民館に関する調査」結果一覧について

- ・配布資料「公民館に関する調査」結果一覧は、都公連加盟11市のデータを4年ごとに更新しているデータ。各市の違いなどを見比べて頂きたい。

##### ②第1回研修会について

- ・都公連委員部会による第1回研修会は12月15日14時から16時まで。リアルタイムでオンライン開催を実施し、会場参加できるのは各市2人までとなっている。

##### ③東京都研究大会第四課題別集会について

- ・都公連委員部会による第四課題別集会を12月11日に開催する。テーマは「コロナ禍を乗り越えた公民館活動」で、講師は東京大学の新藤浩伸准教授。また、国立市、西東京市、国分寺市の3つの団体が事例発表を行う予定となっている。
- ・国分寺市公運審の答申『新型コロナ感染症対策下における公民館の役割について』が完成したので、国分寺市ホームページで読むことができる。

#### 【中川庶務係長】

##### 「公民館に関する調査」結果一覧について

- ・資料中「施設使用料の導入予定あり」については、これまでの公運審で時間をかけて検討した部分である。使用団体として登録している団体は無料、施設の空き時間について有料とすることを検討してきたので、次回調査の際には詳細の説明も追加することとしたい。

### イ 公民館事業の報告について

- ・川原委員：報告の書式について募集人数、応募人数、参加人数の書き方がバラバラでわかりにくいところがある。また年代別、性別の参加がわかると企画の見直しに役立てるのではないか。
- ・新井副委員長：性別の聞き方については大学でも悩み、試行錯誤している。最近「その他」を入れた4択にして、必要のあるときにはしっかり聞くというふうになっている。
- ・嵯峨山委員：東センターまつりについて、コロナ禍で飲食が禁止になっていることもあり参加者がかなり少なかった。それでもまつりの実行委員長翁長さん等のリーダーシップで琉球舞踊等の活動がしっかりと行われており、人が集まっていた。
- ・橋本委員：東センターまつりには毎年茶会として参加しているが、飲食が禁止のため今年度は参加していない。また、人の集まる場所はまだ怖いという感覚もある。
- ・坂内委員：まつりは子どもが中心となることもあるが、子どもはまだワクチンを打ち終わっていない。子どものワクチン接種が終わる頃には参加が増えるのではないか。

### 【大久保事業係長】

- ・事業のまとめについて、人数の表記は統一したルールを設けていなかったもので、検討したい。

## 2 協議事項

### ア 公民館および公民館運営審議会について

#### 【新井副委員長】

##### ①公民館運営審議会とは

- ・公運審は様々な諮問機関がある中でも、特に民意の反映を目的とする点に特徴がある。専門家のアドバイスより公民館運営の自治を目指す市民参加システムとして設置されている。
- ・その背景は、社会教育の本質が国民の自己教育、総合教育であると定められていること、また、特殊な点として社会教育では国や自治体の役割義務が、直接教えること、直接指導することを禁止していることにある。
- ・自由な学習が行われる環境を整備すること（環境醸成義務）が国や自治体の役割と定められている。

##### ②教育の3領域論

- ・日本の行政法制度では教育を、どこの場所で行うかによって3つの領域に分けており、学校、家庭、社会教育の3つとなる。社会教育は、公民館、博物館、図書館がメインの場所となる。
- ・生涯学習は領域ではなく、学校、家庭、社会教育を統合して、人が一生にわたって学べるようにしようというコンセプトのことになる。

##### ③教育に関する主な法規、社会教育の法定義

- ・教育基本法第12条に社会教育にかかる規定があり、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならないと定められている。また、その方法は公民館、博物館、図書館などの社会教育施設を設置し、情報提供などを行うとされている。
- ・社会教育法は1950年代整備されているが、生涯学習振興整備法は1990年に策定されており、社会教育法のあとから整備された法律となっている。

##### ④社会教育の特徴、社会教育の歴史

- ・社会教育は学問用語として極めて珍しく国産の概念である。
- ・明治2年に福沢諭吉門下の山名次郎が『社会教育論』を書き、近代国家を作るために、学校教育だけでは足りないのでアソシエーションを作ることを述べている。
- ・戦前の社会教育では社会保障の代わりに貧困対策として、貧困層の啓蒙を行うという考え方を主流としていた。
- ・大正時代には、文部省に社会教育課教育局が作られ、青年、女性の教育を統制していった。さらに、青年、女性団体、婦人団体を地域に作らせ、社会教育を通じて上意下達のパラミッド型組織が形成されていった。このネットワークによって戦中の物品調達や戦争の意義の周知が図られた過去がある。
- ・義務教育のあとに進学できるものは一握りであり、社会教育が提供する学ぶ機会

は貴重なことであったが、熱心に学んだ結果、戦争協力につながったということがあった。

- ・戦後、社会教育にはこの過去に対する反省、国家に対する疑念が強くあり、社会教育の自由を尊重する流れがある。

#### ⑤現在の社会教育、公民館の課題

- ・戦前への反省から、社会教育法制定には反対があったが、国民の自己教育、総合教育である社会教育を保障する、それができる環境を作ることが国、自治体の役割であるとして、当時の社会教育局長寺中作雄により現在の法律ができた。
- ・様々な地域活動、文化活動が公民館をきっかけに育っており、戦後日本の発展の中で公民館の果たした役割は大きいと考えられている。
- ・2010年代以降は、地域課題の解決に公民館が貢献すべきだという議論が国では強くなっている。公民館の存在意義や活動の方向性を、10年後、20年後を見据えて議論する必要がある。
- ・小金井市には、下村湖人の作った浴恩館がある。浴恩館は公民館の歴史の中で重要な施設である。
- ・吉田委員：小金井市は予算が2億円あり、11市の中で西東京市に次いで2位となっているが、事業委託費が大半を占めている。どのような活動にどのくらい予算を取っているか検討が必要だ。
- ・貫井北分館、東分館の委託に続いて、残りの館も委託する流れがあるのか。
- ・坂内委員：公民館のこれからの方向性として、家庭教育が核家族化で崩壊している中で、社会教育である程度社会的なことを養うような方向性がある。
- ・新井副委員長：皆さんで意見交換すると、そこで自分の価値観が見直されたりすることが社会教育の強みだと思うので、そこを充実させていくといい。

#### 【中川庶務係長】

- ・NPOに委託した館の事業は評価が高い。公運審で委託について検討を重ねた結果、NPO委託の良さを生かし、残りの分館のそれぞれの課題が整理されれば委託をすることとなっている。

### 3 審議事項

#### ア 公民館事業の計画について

- ・新井副委員長：事業名、講師、実施日だけだと審議がしにくい部分もあるので、事業の目的についても教えて欲しい。

#### 【大久保事業係長】

- ・次回審議会までに事業の計画の書式を変えて検討したい。

### 4 その他

- ・渡邊委員長：商工会主催の講演会で植松努さんというものづくりの会社の方を招くことができた。「下町ロケット」のモデルになった方と言われている。宮地楽

器ホールで実施するので参加いただければ。

- ・本川委員：性別調査をするときに「その他」と表記するということだが、これは市として統一なのか。

**【大久保事業係長】**

- ・市に男女共同参画室があり、性別の調査をする時は「その他」を設けることとして欲しいと言われている。

# 第36期小金井市公民館運営審議会第2回審議会

令和3年11月10日（水）午前10時～  
小金井市市第二庁舎8階 801会議室

## 次 第

- 1 報告事項
  - (1) 都公連委員部会運営委員会について
  - (2) 公民館事業の報告について
- 2 協議事項
  - (1) 公民館および公民館運営審議会について
- 3 審議事項
  - (1) 公民館事業の計画について
- 4 その他について

第36期第2回公運審  
公民館事業の報告

令和3年11月1日(水)

館名	事業名	頁
本館	市民講座「親子でタイルクラフトコースターを作ろう」	1
	成人学校「小金井のごみ問題と私たちにできること」	2
東分館	利用団体のつどい「第34回東センターまつり」	3
緑分館	子ども体験講座「まぼろしの伝承あそび「竹がえし」を親子でやってみよう！」	4
	成人学校「中央線沿線の文学風景」	5
貫井北分館	成人学校「健康づくり講座 空手の形を体験してみよう」	6

# 本 館

<b>市民講座</b>	<b>親子でタイルクラフトコースターを作ろう</b>
-------------	----------------------------

**目 的** タイルクラフトコースターの彩る作品を作り、親子の交流を深めることを目的とする。

**日 時** 令和3年9月25日(土)午前10時～正午

**募集方法** 市報9月1日号、月刊こうみんかん9月号、ホームページ、ツイッター、ポスター、チラシ  
令和3年9月8日(必着)までに、往復はがき(1家族1枚)住所、お子様の氏名(学年)、保護者氏名、年齢、保育の有無(お子様の名前、年齢)電話番号を明記し、公民館本館「親子でタイルクラフトコースターを作ろう」係〒184-0004小金井市本町2-15-11

**人 数** 募 集 市内在住、在学の小学生とその保護者8組16人(多数抽選)  
参加者 5組 10人(男性3人、女性7人)

**参加費** 500円

**保 育** あり(概ね2歳以上、要事前申込)  
今回の講座については、保育希望はなかった。

**企画実行委員** 藤原 美知江、宗像 高子

**担当職員** 金子 康幸

**担当者感想** 親子で一つの物に取り組む姿がとても印象的でした。  
参加者からも親子でできる講座を継続して欲しいとの要望をいただき、今後も継続できればと思います。

**参加者感想** (保護者)  
○親子で参加できる講座の今後の参加もしたいです。土曜の開催ありがたかったです。お皿作りや切り絵を作りなどのハンドクラフトのような講座を希望します。  
○ちょうどよい難しさでした。  
○親子参加での企画を増やして頂けるとありがたいです。  
(子ども)  
○きれいなかざるやつをつくりたい。  
○オリジナルコースターと写真たてが作れてうれしかったです。



# 本 館

成人学校	小金井のごみ問題と私たちにできること
------	--------------------

**目 的** 今ごみ問題は、地球の環境問題の大きな理由の一つとなっているが、小金井市のごみ問題はどのような状況だろうか。小金井市のごみの現状を知り、市民の一人としてごみの減量などごみ問題解決に向けて実践できることを考える。また、さらに世界全体のごみについても考察することを目的として、3回講座を実施する。

## 日 程・内 容・講 師

回	日 程	内 容	講 師
1	9月30日	小金井市のごみの現状と私たちにできること	小金井市ごみ対策課職員
2	10月7日	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設(日野市)見学(マイクロバス)	浅川清流環境組合職員
3	10月14日	世界のごみ問題と今私たちにできること	ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子さん

※いずれも木曜日、午前10時から正午まで、10月7日は午前9時から正午まで

**場 所** 9月30日・10月14日 公民館本館 学習室B  
10月7日 浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設

**募集方法** 市報9月1日号、月刊こうみんかん9月号、チラシ、ポスター、市HP、市ツイッター  
一 申込順 電話または直接

**対 象** 全3回参加できる市内在住、在勤、在学の方

**人 数** 募集 10人  
応募 9人  
受講 9人(男性 5人、女性 4人)  
延べ参加者 26人

**担当企画実行委員** 生馬 一枝、岸川 公一、照井 耕之助

**担当職員** 溝江 みどり

**担当職員感想** 自分が住む小金井から世界のごみ問題について、参加者それぞれの視点で熱心に学んでいたと思う。最後に、私たちにできることを考え発表する時間を設け、参加者同士の思いを確認することができた。

**参加者感想** ○今日のゴミ問題、リサイクル、食品ロスの削減等、多くの資料をもとに、基本的な知りたい知識を丁寧に話していただいて大変参考になるよい話であった。このような市民の啓もうに役立つ企画は、是非今後もどんどん企画して欲しい。  
○「ごみ」の問題はとても大切です。毎日の生活で必ず出ます。その分別も分かっている様でも、これは?と考えることも多々あります。この講座を通し、改めて考えてゆきたいと思います。市民全員の問題なので。

## 東 分 館

利用団体のつどい

第34回東センターまつり

**目 的** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度の東センターまつりは、中止となりましたが、令和3年度は感染拡大防止に最大限の注意を払い、利用団体が日頃の活動の成果を発表する場として、「第34回東センターまつり」を開催します。

### 日程・内容

日 程		内 容
10月2日 (土)	10:00~16:00	作品展示(羊毛作品・型絵染・子ども作品など)
	11:30~11:45	琉球舞踊
	13:30~13:45	風流江戸芸「かつぽれ」
	14:30~14:45	インドネシア舞踊
	15:30~15:45	ガムラン演奏
10月3日 (日)	10:00~15:00	作品展示(10/2と同内容)
	13:30~13:45	琉球古典音楽(歌・三線)

※公民館主催イベントは、10月3日午前にコンサートを予定していましたが、感染症拡大を受け演奏者より出演辞退の申し入れがあり中止となりました。

**広 報** 市報9月15日号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター

**人 数** 約400人

**担当企画実行委員** 稲垣 芳樹、柏倉 明、熊野 賢三郎、高坂 憲二郎、  
長坂 義明、矢部 響子

**担当職員** 鈴木 浩一、倉本 恵子、浅香 佳代子

**担当職員感想** 計画からまつり当日まで感染症拡大が予断を許さない状況が続いていましたので、説明会から実行委員会、本番において感染症対策を最優先にした新様式での運営を行いました。参加団体の方々には、受付や除菌作業などの感染症対策に多くのご協力をいただき、つつがなく無事にセンターまつりを終了することができました。これは、ひとえに翁長良賢実行委員長や参加団体、それを支えるの方々のご理解ご協力の賜物だと感謝しています。本当にありがとうございました。

## 緑 分 館

### 子ども体験講座

まぼろしの伝承あそび「竹がえし」を親子でやってみよう！

**目 的** 昔あそびを親子で学び、体験することで、親子間のコミュニケーションの一助にさせていただく。

**日 程** 令和3年9月18日（土） 午後2時から午後4時まで

**内 容** 伝承あそび「竹がえし」を親子で学び、体験する。

**講 師** 吉祥 千明さん（昔あそび研究家）

**場 所** 公民館緑分館 学習室A・B・C

**募集方法** 市報8月15日号、月刊こうみんかん9月号、ポスター、チラシ【公民館緑分館近隣の小学校（小金井市立小金井第3小学校、小金井市立緑小学校）の全児童に配布】、市HP、公民館ツイッター  
申込順 電話または直接

**対 象** 市内在住、在学の小学生

**人 数** 募集 15組 応募 6組  
受講 6組（男性4人、女性8人）

**担当企画実行委員** 大蔵 芳夫

**担当職員** 山本 ひろみ

**担当職員感想** 子どもたちの遊びがゲーム主流のなか、あまり知られていない昔あそびを子どもたちが夢中になって楽しんでくれてよかった。

**参加者感想** （子ども）  
○むずかしかった。最後の「3本つかって竹竹がえし」が一番むずかしかった。もらった竹で家でやってみようと思う。またやりたい。  
○むずかしかったけどたのしかったです。  
（保護者）  
○子どもが楽しんでいたので良かったです。子どもの参加動機が竹がえしがやりたいというよりはママと一緒に遊べるなら！ということだったので、とてもよい機会になりました。

## 緑 分 館

成人学校

中央線沿線の文学風景

**目 的** 文学者たちが描いた中央線沿線の風景や作家と沿線地域との関係性を辿ることにより、文学作品を読む新たな楽しみを見つける。さらに、地域の魅力を再発見していく。

### 日程・内容・講師・場所

回	日程	内 容	講師	場所
1	9/2	中野から荻窪周辺までの文学風景	矢野 勝巳さん (元三鷹市山本 有三記念館館長)	公民館緑分館 学習室A・B・ C
2	9/9	吉祥寺から三鷹周辺までの文学風景		
3	9/16	武蔵小金井から国分寺周辺までの文学風景		
4	9/30	国立から八王子周辺までの文学風景		

※いずれも木曜日 午前10時から正午まで

**募集方法** 市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号、ポスター、チラシ、市HP  
公民館ツイッター、往復はがき 申込多数のときは抽選

**対 象** 市内在住、在勤、在学の方

**人 数** 募集 24人  
応募 28人  
受講 28人 (男性10人、女性18人)  
延べ参加者 98人

**担当企画実行委員** 大蔵 芳夫

**担当職員** 林 文男

**参加者感想**

- 今回の講座を機にいろいろ作品の舞台を歩いてみたい、作品も読んでみたいと思いました。
- 中央線沿線を改めて見直しました。新たな気持ちで何か一冊読んでみたいと思います。
- 興味があった分野でしたので大変良かったです。講師の先生の熱心な説明に感動しました。
- これから小説を読む上で中央線沿線の舞台になった場所を身近に感じ一冊でも多く手に取りたいと思いました。

## 貫井北分館

成人学校

健康づくり講座 空手の形を体験してみよう

**目的** 攻撃と防御の技を一連の流れとして組み合わせた演武である空手の形を学び、健康づくりに役立てる。

**日程** 10月2日・9日・16日 いずれも土曜日  
①午後2時から2時50分まで  
②午後3時10分から4時まで ※入替制

**講師** 数納 秀明さん（地域空手団体代表）

**場所** 公民館貫井北分館 北町ホール

**募集方法** 市報9月1日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP  
貫井北分館ツイッター 申込順 電話または直接

**対象** 市内在住・在勤・在学の方

**人数** 募集 20人 応募 14人  
受講 12人（女性7人、男性5人）  
延べ参加者 24人

**担当職員** 野津 幸代

**担当職員感想** 3日間で空手の形「太極Ⅰ」をマスターすることを目標にした講座でした。1日目、2日目は柔軟や基本動作、移動稽古などを行い、最終日に形を行いました。方向が変わるので難しかったです。何とか形になりました。途中家族連れが覗いていたので一緒に体験してもらったり、家族が見に来たり、とてもオープンな講座となりました。

**参加者感想**

- はじめての空手でどうかなと思ったけど意外とかんたんで楽しかったからまたやりたいし、家でもパパといっしょにやりたいと思いました。
- 難しかったです。ごていねいに優しく教えて下さったのでとても良い体験になりました。ありがとうございます。
- 初めてきちんと母子でチャレンジできて、とてもよい経験になりました。今後も是非習いたいと言っているのでもよろしくお願いいたします。道が付く習い事は礼儀も身につけて心身共によいと感じています。先生も絶えずニコニコされていてとても印象がよく子どもたちも安心していました。又こういう機会があれば参加したいです。

令和3年11月10日

## 公民館事業の計画

館名	事業名	実施日	曜	時間帯	回数	講師	対象	定員	保育	その他【担当者】
本館	親子で楽しむクリスマスツリーとオーナメントを作ろう	12月11日	土	午前10時～正午	1	佐野幸子さん	市内在住・在学とその保護者	8組	なし	本館学習室A【金子】
	第546回市民映画会「ムーミン谷とウインターワンダーランド」	12月18日	土	①午前10時～ ②午後2時～	2	—	どなたでも	40人 (先着順)	なし	貫井北分館学習室A・B【金子】
	成人学校「パラリンピック後の共に生きる社会を考えよう」	12月19日	土	午前10時～正午	1	矢野典嗣さん(元都立小金井特別支援学校教諭)	市内在住・在勤・在学の方	30人 (申込順)		本館学習室B【溝江】
	市民講座「気象災害って、ナニ？気象予報士山神明理さんと考えるマイタイムライン」	2月5日・12日	土	午後2時～午後4時	2	山神明理さん(気象予報士)	市内在住・在勤・在学の方	30人 (抽選)	あり	本館学習室B【落合】

館名	事業名	実施日	曜	時間帯	回数	講師	対象	定員	保育	その他【担当者】
東分館	成人学校「方丈記と徒然草を学ぶ」	1月14日・21日・28日	金	午前10時～正午	3	浅見和彦さん (成蹊大学名誉教授)	市内在住・在勤・在学の方	20人 (申込順)	なし	東分館集会室A・B【鈴木(浩)】
	成人学校「コミュニケーションから生まれる100文字エッセイ入門～集い・語り・学ぶ～」	1月17日・24日・31日	月	午後2時～4時	3	八覚正大さん(作家)	市内在住・在勤・在学の方	10人 (多数抽選)	なし	東分館集会室A・B【倉本】
	成人学校「パントマイムライブショー～心も弾む、ぱんっとマイム～」	1月29日	土	午後2時～3時30分	1	佐々木諒さん (パントマイムアーティスト)	市内在住・在勤・在学の方	20人 (申込順)	なし	東分館集会室A・B【倉本】

館名	事業名	実施日	曜	時間帯	回数	講師	対象	定員	保育	その他【担当者】
貫井北分館	市民講座 一般教養や専門的知識 「『泣いた赤鬼』と節分の室礼を楽しむ」	1月23日	日	午後2時～4時	1	長谷川葉月さん (武蔵野朗読会主宰)ほか	市内・在住・在勤・在学の方	14人 (申込順)	なし	貫井北分館 北町ホール 【水本】
	男女共同参画講座 「パラスポーツと義足の世界」	1月24日	月	午前10時～正午	1	臼井二美男さん (義肢装具士)ほか	市内・在住・在勤・在学の方	18人 (申込順)	あり	貫井北分館 学習室A・B 【水本】
	青少年教育講座 若者による自主講座 「東京農工大学落語研究会の落語口演と落語講習会」	2月13日	日	午後2時～4時	1	東京農工大学 落語研究会	市内・在住・在勤・在学の方	16人 (申込順)	なし	貫井北分館 北町ホール 【伊藤】
	利用団体のつどい 「第8回貫井北センターまつり」	3月26日～27日	土・日	午前10時～午後5時 午前10時～午後3時	2	バルーンアート (バルーンショップ・コズミック)	どなたでも	—	—	貫井北センター 【村山・伊藤・野津・水本】